

文部科学省は9月6日、児童生徒が教科書などを学校に置いて帰る、いわゆる「置き勉」を認めるよう、全国の教育委員会へ通知した。

これまで、学校は教科書な

私見創見 Thursday

見が全国的に寄せられるようになり、動き出した。われわれ親の世代も、小学校ではランドセルを背負い、中学校では学校指定のリュックサックを背負い、さらに部活動の道具や辞書で両手がふさがっていた。高校になり、それまでやってはいけな

「置き勉」を経験し、少し大人に近づいたような気になったものだ。

実は、この文科省の通知より前に、「置き勉」を認めた学校の例がいくつかある。中でも、広島の中学生在が作った動画「学校のカバンが重い」が、話題になっている。私も動画投稿サイト「ユーチューブ」で見たが、子どもの問題提起に先生方が真摯に対応する流れが結構面白い。

文科省は、例えば「習字の筆は持ち帰り、硯は学校に置いて帰ることを認める…」など、学校が何を持ち帰らせる

教科書と時代の流れ

か「工夫例」を示した。

しかし、この広島の中学校では、何を家に持ち帰るのかについて、予習復習の計画とともに生徒自らの判断に任せるという結論に至った。素晴らしい決断であり、今後が楽しみです。

近い将来、電子書籍が主流になれば、教科書も辞書もタブレット端末に収まり、「置き勉」の対象も教科書など教材でなく、まさに習字の筆か硯かの時代が来るかもしれない。

そして、佐賀県武雄市がタ

畑山 篤

志学塾塾長



はたやま・あつし
1960年、八戸市生まれ。明治学院大卒。志学塾を運営しながら、全国各地で講演。「勉強後学習支援」に関与する。全国学習塾協合理事。

た。

私は「反転授業」というのは、帰宅したらそのタブレットを使って明日の授業を見て知識を習得し、翌日、教室では講義の代わりに問題を解いたり、話し合いをしたりして、学んだ知識を深める授業だ」と説明した。

全員がきょんとしていたが、一人の男子が「タブレットで勉強ならやる気が出ます」と発言した。

私は「タブレットが家にあり、一人一台配布するのは確かに話題になる。しかし、それだけで、君たちが家で自主的に勉強をするだろうか」と話した。学生時代に部活を終えて帰宅した後、旺文社のラジオ講座、教育テレビの高校講座を活用しようとして毎日睡眠不足で悩んでいたという私の経験談を話した。

そして、「タブレットを渡せば家で予習すると真面目に考えている教育関係者がいるとしたら、きっと私のように英会話の教材を買っただけ、ダイエット商品を通販で買っただけという経験がないだろうか。タブレットは道具だ。道具が叱ったり、褒めたりすることはない」と話した。教室は笑いに包まれた。

置き勉が解禁になり、ICT(情報通信技術)が家庭教育に普及する時代、子育ての在り方で教育の格差はますます広がるだろう。安全・安心・便利な生活で、親は子育てを感じるよりシステムに頼り、大事なことを見落としていくかもしれない。

昔から、子どもたちは、やるなというのをやり、やらないというのをやらぬもの。やる気は、乗り越えられない壁を乗り越えようとする意欲だ。親は子が障壁に挑んでいるか気付かなければならない。

度改正を検討する。

40年に求められる人材像について人工知能(AI)など科学技術の進展を踏まえ、文系理系の垣根なく「データサイエンスなどの素養を持ち、新たな価値を創造する」と記載。各大学には「何を教えたか」から「何を身に付けたか」への転換が必要だとし、一人一人の学習状況をより可視化する重要性も指摘した。

置き勉と反転授業

トキつがい来月佐渡へ

日中友好演出

日中両政府は、国際保護鳥トキのつがいを10月中旬に中国から新潟県佐渡市の佐渡トキ保護センターに届ける方向で調整に入った。安倍晋三首相は日中平和友好条約の発効から40年となる10月23日に訪中する見通し。「親善の象徴」と位置付けるトキの提供を通じ、友好ムードを演出する狙いだ。複数の日本政府関係者が26日、明らかにした。中国からの提供は2007年11月以来、約11年ぶりとなる。



5月に来日した李克強首相が「中国人民の日本に対する友好感情を長年、一貫して大切に育んできた」と発言した。

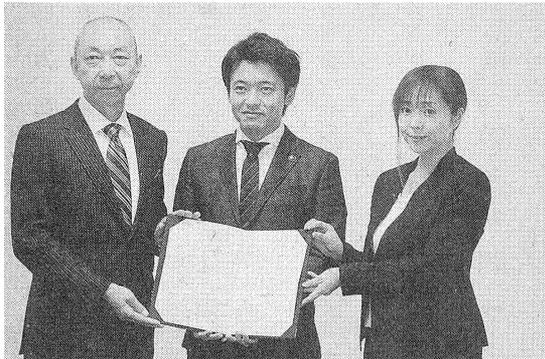
の節目でもあり、安倍首相は10月の訪中時に改めて中国側に謝意を伝える意向だ。

関係者によると、中国側はトキが鳥インフルエンザに感染していないかなどの検査を始めており、近く選定作業を完了する。

日本産トキは03年に絶滅。現在は中国から提供を受ける。中国側はトキのつがいを10月中旬に中国から新潟県佐渡市の佐渡トキ保護センターに届ける方向で調整に入った。安倍晋三首相は日中平和友好条約の発効から40年となる10月23日に訪中する見通し。「親善の象徴」と位置付けるトキの提供を通じ、友好ムードを演出する狙いだ。複数の日本政府関係者が26日、明らかにした。中国からの提供は2007年11月以来、約11年ぶりとなる。

貴品整理で連携協定

むつ市と協同組合



協定書を手にする(左から)齋藤靖守代表理事、宮下宗一郎市長、畑中祐美子むつ市工ア担当理事

両国の政治的関係に影響される傾向がある。11年に当時の温家宝首相が提供の意向を示したが、12年の日本

政府による沖縄県・尖閣諸島国有化を境に関係が冷え込み、計画が実現しなかった。

同組合は清掃業者やリサイクル業者など県内9社で組織。協定締結は、遺品整理の料金平準化、作業の質の確保などを目的とした同組合と連携することで遺品整理の円滑化を図るとともに、貸家や貸間として利用できない期間を最小限とするのが狙いだ。

市役所で行われた締結式では、宮下宗一郎市長と齋藤靖守代表理事が協定書に署名した。宮下市長は「協定書に署名し、互

年齢世帯数は約3200世帯(2015年)。孤独死は17年以降10件発生しており、市が遺品整理について相談を受けることもあるという。

県内市町村と同組合の協定締結は、西目屋村に続いて2例目。

(澤田淳一)

国立大の定員規模見直しを

18歳人口減で中教審答申案

2040年の大学の在り方を議論している中教審の将来構想部会が26日の会合で、18歳人口の減少が今後加速することを踏まえ、国立大の定員規模の見直しを検討すべきだとする答申案を大筋で了承した。近く意見公募を始める。答申は

故 声優の平野綾さんが東京都港区南青山2丁目の路上で乗用車を運転中に追突事故を起こしていたことが26日、警視庁の捜査で明らかになった。